

(一) 「林木」という名の由来

「林木」という地名が最も古く使われているのは、雲陽誌の伝記の中で、「林木郷と大寺薬師」という記録があります。これは大寺薬師に住む智春上人（推古三年（五九五））の伝説について語られている伝承です。

さらに、古い時代から「林木」と呼ばれる伝説があります。

それは、神代の時代、出雲の国を治められていた大国主命が美保関へお出かけになったとき、大国主命と多紀理姫との御子神、七福神として知られる魚獲りの名人・恵比須様（事代主命）が幼少の頃、大国主命の帰りを待ちわびて、この林木の地までやってきて、

「早く帰ってきて」

と言われたのが略されて「林木」という地名になったと
いうことです。

この伝記は、高岡氏宮家説の中に記録されているらしいのですが・・・。

